

1月8日 バヌアツ諸島の地震

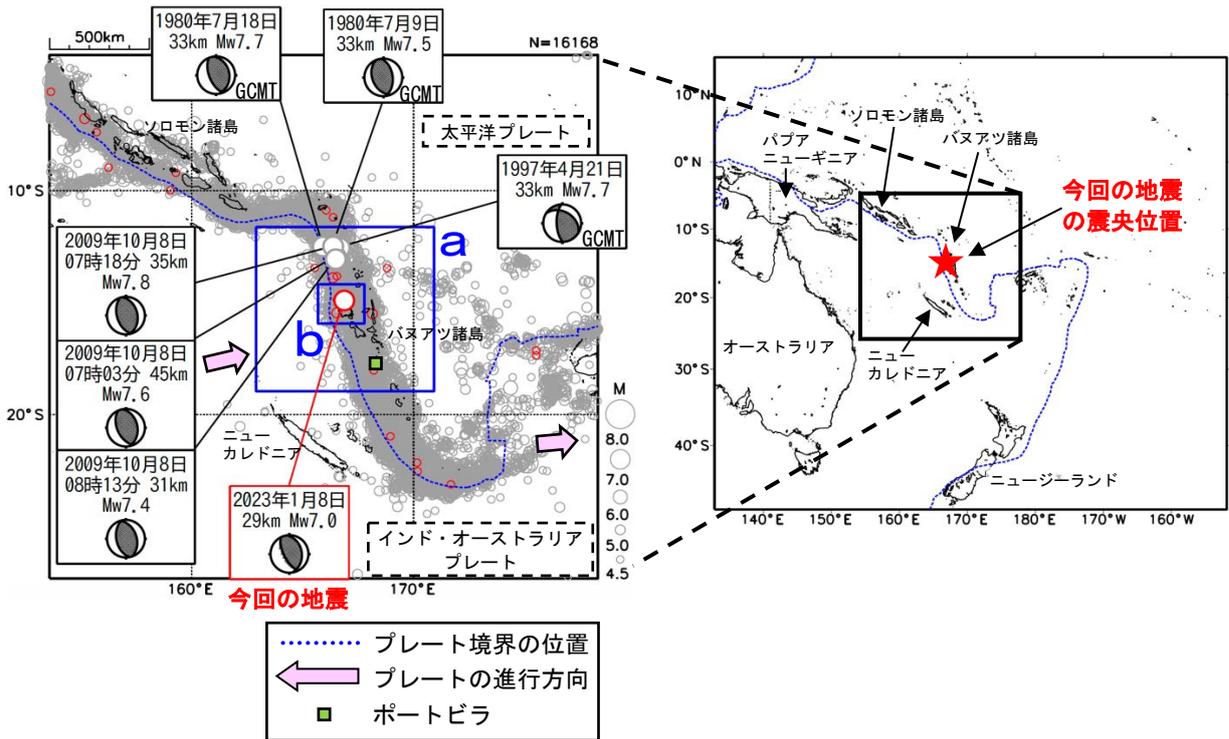
2023年1月8日21時32分（日本時間、以下同じ）にバヌアツ諸島の深さ29kmでMw7.0の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震はインド・オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日22時01分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。なお、今回の地震による現地の被害は報告されていない。

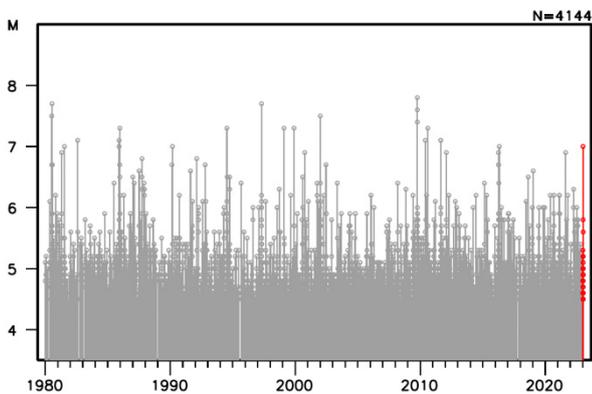
バヌアツ諸島周辺は活発な地震活動がみられる領域で、1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM7.0以上の地震が時々発生している。2009年10月8日には、07時03分にMw7.6の地震が、07時18分にMw7.8の地震が、さらに08時13分にMw7.4の地震が発生し、バヌアツのポートビラで0.29mの津波を観測した。

震央分布図

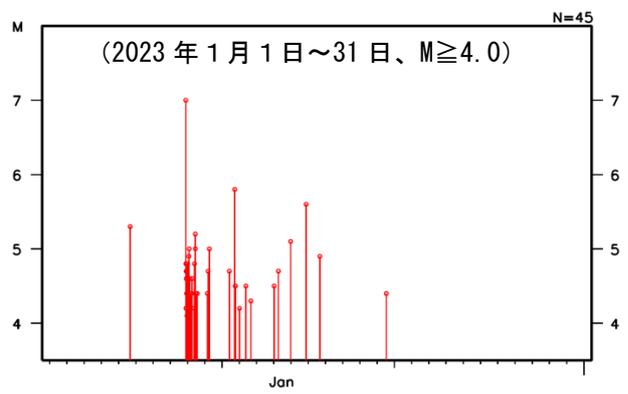
(1980年1月1日～2023年1月31日、深さ0～100km、M \geq 4.5)
2023年1月の地震を赤色で表示



領域 a 内の M-T 図



領域 b 内の M-T 図



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2023年2月6日現在）。ただし、吹き出しのある地震のうち、「GCMT」が付いた地震の発震機構と Mw は Global CMT、その他の地震は気象庁による。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2023年2月6日現在）による。プレート境界の位置と進行方向は Bird（2003）*より引用。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2023年2月6日現在）。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.